

(平成26年4月21日受付)

市内の公園の活用方法について

■内容

高雄大橋高架下にある公園について、高架下という立地にあり、雨の日でも子どもらを遊ばせる事ができ、良い場所だとは思いますが、残念な事に一番子どもらが遊ぶ滑り台だけが高架下の隙間のぬれる場所に設置されています。これは何かの意図があつての事でしょうか？ 最近公園も少なくなり、貴重な公園です。できれば改善していただければありがたいです。

また、郊外には大きな公園もありますが、市街地を活性化する意味でも旧市内の公園、特に総合センター前の公園が親子が集える公園になれば、まちなかへランチを買いに行つて公園で食べたり、そのまま町歩きしたりもでき、商店街の活気も出てくるような気がします。

たなべるの前の広場も、カフェやマルシェのようなものを毎週すれば相乗効果もあるかと思えます。子どもたちを持つ母親たちの意見を耳にしたので質問させていただきました。

■回答

高雄大橋高架下にある公園（小泉公園）の遊具の配置につきましては、限られた敷地内で、現在の遊具設置基準に基づく各遊具の安全領域（遊具の安全な利用行動に必要とされる空間）を十分に確保した上で、公園の中央付近になるべく広く自由に使用可能な空間（自由な遊びができる広場）ができるようにと考えました。こうしたことから、ご指摘のとおり、雨天の際には滑り台をご利用いただくことができず不都合を感じられるかと思いますが、ご理解のほどよろしく願いいたします。

市民総合センター前の公園（会津公園）につきましては、昭和30年に開設され、長年にわたり、市民の皆様にご利用いただいています。平成23年度には、老朽化した滑り台などの遊具を改修しました。公園内では市民の皆様のボランティアによる花の植栽も行われています。今後におきましても、市民の皆様に憩いの場所としますますご利用いただけますよう適正な管理に努めてまいります。

たなべる前の広場につきましては、田辺市文化交流センター「たなべる」の基本構想のコンセプトの一つに、市街地の活性化へつながることを掲げており、このようなことから、この「たなべる」の近くには喫茶店や菓子店など飲食関係のお店があり、少しでもにぎわっていただけるようにと期待をしているところです。したがって、今回、ご提案いただきましたが、市といたしましては、今後とも多くの方々に「たなべる」を学びや憩いの場として、なお一層ご利用いただくとともに、施設周辺の店舗のにぎわいのお役に立つことができるようにと考えていますので、ご理解のほどよろしく願いいたします。

【管理課・図書館】